

	特定非営利活動法人 炭鉱の記憶推進事業団 理事長 平野義文 〒068-0021 岩見沢市1条西4丁目3 そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター ☎0126-24-9901 FAX 0126-24-9902 https://soratan.or.jp	No.026 2026/07/01
---	--	---------------------------------

お品書き	1, 近況・経過報告 / 2, 今後の予定 3, 話題提供 / 4, 総会報告
-------------	---

■ 1, 近況・経過報告 ■

「炭鉄港」日本遺産再認定！ しかも・・・！

日本遺産は認定時に地域活性化計画をつくるため、その計画満了となる6年後のタイミングで、これまでの計画に対してどれだけの成果が出たかを見る「総括評価」と、今後も日本遺産として続けるに足る計画があるかを見る「継続審査」が実施されます。

この審査が前回の「炭鉱の記憶 情報」発行後に行われました。現地調査やヒアリング等も非常に緊張感のある中で行われましたが、結果は皆様ご承知のとおり、令和7年7月31日に文化庁から『本邦国策を北海道に観よ！～北の産業革命「炭鉄港」～』は、日本遺産認定継続となりました。また、それだけでなく、他のモデルとなる地域として、栄誉ある「重点支援地域」にもあわせて選定されました。

これは現在 104 ある日本遺産の中で 12 しか選定されていないものです。これもひとえに、日頃から活動を支えてくださっている会員の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

夕張市石炭博物館の試練

今年のグリーンウィークを最後に、ドラムカッター、ロードヘッダー、ダブルチェーンコンベア等の実演運転が終了しました。理由は、電源設備にポリ塩化ビフェニール（PCB）含有の検査を行うために電

源コンデンサを取り外し、穴あけによる検査実施のため二度と使用できなくなるものです。（下画像は取り外し風景）



夕張市との協議では、設備一式、全てで老朽化が進んでいることから、これ以上の予算措置は難しく、やむなく動態保存は断念する判断となりました。当 NPO としては、電圧 500V で稼働する国内唯一の動態保存を諦めることは難しく、現在、再稼働を実現すべく、寄付による資金集めの方法など様々に模索しています。



ただし、あまり期間を空けると潤滑油の固着や油落ちによる錆の発生等、故障のリスクが高まるため、あまり猶予がありません。今後は他設備の老朽化も著しいため、様々な支障発生の懸念とともに、今後も関係各所と協議を進め、近い時期に何らかの告知ができるものと考え

えております。その際はぜひお力添えを賜われれば幸いです。

また、**石炭大露頭保全工事**が始まりました。これは露頭の上の土砂等が崩れるのを防止するため、懸念されるところを取り除く工事となります。すでに大露頭の防護が行われ、今秋の工事完了まで露頭は直接見られないこととなってしまいます。（下：防護前の大露頭）



博物館にとって、採炭機械の実演運転終了につづき、大露頭も目にするのができない試練の時となっていますが、地下スタッフによる丁寧なガイドも好評であり、今後も様々な知恵を絞り、新たな展示や体験を提供しつつ、ご来館いただいた方々に満足していただける取り組みを進めていきます。



（左から殷さん(新)、西田さん、平間さん(新)）

■ 2, 今後の予定 ■

①炭鉄港カレンダー作成予定



2027 年度の炭鉄港カレンダーをつくるべく、炭鉄港関連写真（日本遺産構成文化財でなくても、炭鉄港関連のものであれば OK です）を募集しています。応募いただいた写真は 7 月 8 日（水）から始まる石蔵展にて掲示させていただき、その後、選定しカレンダーに使用させていただきます。

詳細は[ブログをご覧ください→](#)



②炭鉱の灯り 7/25

毎年、恒例の「炭鉱の灯り」は、本年は夕張市の「鹿ノ谷駅」で初開催する予定です。駅舎や周辺の雰囲気とマッチしてとても素敵な灯りが灯ることと思います。ぜひ鎮魂の意を込めて、多くの皆様に静かな夜を過ごせたら幸いです。

③炭鉱の日

毎年 8 月 11 日は〈山の日〉ですが、当 NPO では炭鉱（ヤマ）の日としてズリ山に登ります。今年目指すのは、ズリ山と言えば！の赤平「旧赤間炭鉱ズリ山」です。標高 197.65m、平均斜度 18 度。階段数は日本一の 777 段です。登った経験のある方も多いと思いますが、あらためて皆で登ると違った面

白さがあると思います。未経験の方は左手に徳川城、右手に旧住友赤平炭鉱立坑櫓が見える、赤平ならではの景観を楽しみにしてください。何せ暑い時期なので、熱中症対策は万全に！

④炭鉄港 3-DAYS Weekender 2026 開催



昨年から試行的にスタートした〈炭鉄港 3-DAYS〉は、とても多くの方々に満喫していただけたと感じています。今年はいよいよ関連 15 市町、すべての自治体で何かしらのことを実施する 3 日間になる予定で鋭意進行中です。

現在決定しているのは、日程と参加自治体のみで、内容については今後それぞれに詰めて行くことになります。

そのような中で、私たち NPO 法人炭鉱の記憶事業団が中心となり、各関連自治体、団体等と連携し、新たな「面」と「線」の構築を準備中です。

例えば**樺戸道路（峰延道路）**です。工事着工 140 年を記念し、現在、月形町、三笠市、美唄市、岩見沢市 + NPO で連携して準備中です。寺本界雄著「樺戸監獄史話」より抜粋すると、「月形から峰延までの四里の道路は、一本の定規で引いた線の様に直線であることが特徴である。樹草密生、沼澤が随所に連なるこの道路の測量にあたっては、月形は円山に、峰延側は達布山に夫々狼煙をあげ、それを目標に一路、巨木を伐り、沼澤を埋めて土盛りをしたのである。この間、凡そ二里半は一面の沼澤地帯であったという。という具合に、下イメージ図のように非常に過酷な中で完成された道路です。



今年はどこまで掘り下げられるかわかりませんが、炭鉄港 3-DAYS をきっかけに、今後、永きにわたり、その価値が認知されるような取り組みにしたいと思っています。

もう一つは**夕張鉄道開業 100 年**を記念して、恒常的に人の流れをつくるきっかけをスタートしたいと思っています。ぜひお楽しみにいただき、10 月の 3 連休は今から予定を空けておいていただければ幸いです。

※それぞれ随時更新いたします、SNS やブログでの発信をご覧ください。

■ 3, 話題提供 ■

炭鉱の記憶 YouTube チャンネル



最近では文字での投稿より YouTube の方が情報伝達に優れている部分も目立ってきました。まだまだ未成熟なチャンネルですが、各種講演会の様子や、会員限定の情報配信などもありますので、時折ご覧頂ければ幸いです。（Pass が不明な方はご連絡ください） [YouTube→](#)



■ 4, 総会報告 ■

《第1号議案》

2025 年事業報告（抜粋）

※活動計画に対する達成度：○＝達成 △＝途上 ×＝未了

■ 出版事業

×できませんでした

■ 情報発信事業

○会報誌 No25 発行

○動画配信 YouTube チャンネル動画更新、炭鉄港 3-DAYS の 3 日目にはライブ配信を実施しました。

○Web ホームページ、SNS、ブログ等の更新、投稿を継続しています。

■ 炭鉱遺産事業

○ぶらぶらまち歩きの実施

定番を 9 回、スペシャル回を 4 回の合計 13 回実施し、延べ人数 395 名の参加者がありました。※定員制あり

○炭鉱の灯りの実施

第 23 回目は 7/26 に夕張の石炭の大露頭前広場で実施しました。

○奔別立坑周辺の利活用に向けた取り組み～GW とお盆に開催。述べ 640 名参加。内ガイドツアー参加は 324 名。周辺整備も実施しました。

○石碑等既存物に対する取り組み
万字炭山駅の駅碑を修復、万字炭山森林公園への移設を先導しました。

○各種活動団体等との連携
炭鉄港に直接的、間接的を問わず関係する団体との取り組みが増加中。

△ドイツ・ルール地域協会の空知訪問
対応～来年度に実施変更。

■ 学術支援事業

○歴史的経緯を踏まえた鹿児島との交流継続に向けた取り組み～11 月に会員限定九州視察ツアーとして、20 名で鹿児島の尚古集成館等を訪問。

○地域シンクタンクとしての展開～国内外の研究者・企業・行政・教育関係者等からの相談や意見交換に対応し、空知の産炭地域が有する歴史・資源・課

題を、跡地活用、展示企画、学校施設の利活用、インフラツーリズム、国際交流など多様な分野へ展開する取組を推進しました。

○教育機関との連携

炭鉄港出前授業や現地見学、講演、フィールドワーク等について、学校・教育関係機関からの 19 件の依頼に対応し、延べ約 1,976 人が参加するなど、特に岩見沢市内の小中学校を中心に教育分野での活用が広がっています。

○日本遺産認定継続に向けた支援
炭鉄港推進協議会と運動しました。

NPO の炭鉄港に関連した活動は、認定継続と重点支援地域選定に繋がる一翼を担ったと思います。

○各種フォーラム等の開催

「上砂川水力採炭講演会」をかみすながわ炭鉱館にて開催。定員 40 名

○炭鉄港まちづくり講座の継続
太田顧問講師による「活かす炭鉄港」まちづくり講座 2 月に 2 回、3 月に 1 回バス研修を実施。各回定員 18 名。対象は前年の講座参加者、NPO 会員、炭鉄港ガイド登録者となりました。

■ 市民団体連携事業

○《炭鉄港》などを通じた他管内の機関・団体（企業含む）との連携協力
炭鉄港に関する講演・研修・視察ガイド・ツアー解説・PR 出演等について、企業、行政、地域団体、観光関係者などからの依頼に年間 20 件対応し、人数把握分で延べ約 929 人が参加するなど、幅広い分野からの相談・活用が増加しています。

○各地活動主体と連携し「炭鉄港 3-DAYS」の実施～全体の牽引役となり 3 日間全体で 6,681 名の参加者。当日 NPO では操車場跡見学、朝日本坑・駅舎見学、石蔵鉄道写真展、駅周辺ショートガイドツアー、石炭博物館特別事業を担当。会員にもガイドや係

員として多大な協力をいただきました。
○国内外の関係者・団体への対応
炭鉱や「炭鉄港」について問い合わせや取材（新聞、テレビ、ラジオなど）、多様なアクセスに積極的に対応しました。

■ 拠点活動事業

○そらち炭鉱の記憶マネジメントセンターの質的充実～MC 入館者数 2025 年 1 月～12 月 3,692 名。炭鉄港カード配布や石蔵イベントの減少も影響したのか、来館者数は減少しました。

○石蔵での企画

展示・トーク・ライブ・企画イベント等を 8 件実施し、鳥瞰図、石炭アート、軍艦島写真、炭鉄港構成文化財、鉄道写真など、炭鉄港の歴史・文化を多角的に発信しました。

○その他

岩見沢市ふるさと納税返礼品「炭鉱の記憶グッズセット」には 3 件の申し込みがありました。新立坑タオル、オリジナルポーチ、鳥瞰図の販売を開始しました。

■ ヘリテージツーリズム事業

△各団体、個人より、炭鉱跡地ガイドツアーやまち歩きツアーの企画相談を受けました。

■ 石炭博物館事業

《指定管理業務の総括・抜粋》
石炭博物館指定管理者受託 2 期目の 3 年度目、通算 7 年度目でした。模擬坑道の再開により入館者数は前年比 83%増の 33,449 名となり、目標を 45%上回りました。模擬坑道の再開にあわせ、坑内解説掲示やミニガイドツアーを実施し、担当スタッフの補充や理事による解説対応など体制強化を図りました。展示面では「北炭」「炭鉄港」パネルや石炭細工展示を追加し、地下展示室のマネキン衣装も新調しました。また、歩車道、駐車場・排水環境の改善、特別企画展や各種イベント、SL50 年記念展示、年間パスポートや

新商品の導入を進めました。さらに、メディア取材、海外視察、ガイドツアー、学校授業への協力を通じ、博物館の魅力発信と地域回遊、教育活用の促進に努めました。

■ 会務

○会員サービスの実施

会員交流会の実施、各種会員価格、先行予約設定、会員限定露天堀現場 & 発電所バスツアー、会員限定九州視察ツアーの実施など会員サービスの向上に努めました。

○会員数 2025 年 12 月末
総数 414 名（運営会員 58 名／一般会員 329 名／賛助会員 27 社）

《第3号議案》

2026 年事業計画

■ 出版事業

・炭鉄港ガイドブックの出版を目指す

■ 情報配信

〈会報誌〉年 1 回の「情報」発行・送付を実施する。

〈動画配信〉炭鉄港等の価値の向上に資す YouTube 動画配信の継続実施
〈web〉主ホームページの適宜更新、各種 SNS の積極活用を継続する

■ 炭鉱遺産事業

各種ぶらぶらまち歩きや講演、研修会等の実施◇奔別立坑周辺の利活用に向けた取り組み◇石碑や案内看板等に対する取り組み◇各種活動団体等との連携◇ドイツ・ルール地域協会の空知訪問対応

■ 学術支援事業

歴史的経緯を踏まえた鹿児島交流◇地域シンクタンクとしての展開◇教育機関との連携◇各種フォーラム等の開催

《第2号・第4号議案》

左下：2025 年 12 月 31 日の財務状況

右下：活動報告書（24年度決算・25年度予算）

2025 年 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表 2025年12月31日現在				単位：円	
科 目		金 額			
Ⅰ 資産の部					
1 流動資産					
現金	232,006				
普通預金 ゆうちょ銀行	10,223,524				
郵便振替口座	3,197,151				
普通預金 北洋銀行	2,852,699				
普通預金 空知信用金庫	90,199				
普通預金 北海道労働金庫	8,810				
普通預金 北洋銀行〔石庫〕	7,812,910				
現金・預金小計	24,417,299				
売掛金	694,204				
貯蔵品	232,881				
前払費用〔家賃〕	150,000				
仮払金	302,278				
流動資産合計		25,796,662			
2 固定資産					
建物付属設備	199,100				
工具器具備品	1,582,022				
減価償却累計額	△ 1,673,537				
有形固定資産小計	107,585				
敷 金	102,000				
出資金〔空知信用金庫〕	50,000				
投資その他の資産小計	152,000				
固定資産合計		259,585			
資産合計			26,056,247		
Ⅱ 負債の部					
1 流動負債					
未払金〔電力料・社会保険料〕	2,098,066				
未払費用	744,108				
預り金	593,667				
仮受金	52,386				
未払い法人税	4,163,000				
未払い消費税	2,379,500				
流動負債合計		10,030,727			
2 固定負債		0			
固定負債合計		0			
負債合計			10,030,727		
Ⅲ 正味財産の部					
1 前期繰越正味財産		7,521,095			
2 当期正味財産増加額		8,504,425			
正味財産合計			16,025,520		
負債および正味財産			26,056,247		

■ 市民団体等連携事業

炭鉄港などを通じた他管内の機関・団体、企業含との連携協力◇各地活動主体と連携し「炭鉄港 3-DAYS Weekender 2026」の実施◇国内外の関係者・団体への対応

■ 拠点活動事業

そらち炭鉱の記憶マネジメントセンターの質的充実と認知度向上◇会員による運営支援の実施

■ ヘリテージツーリズム事業

必要に応じた協力を実施

■ 石炭博物館事業

模擬坑道における展示、解説（ガイド等）の積極展開◇博物館の質的充実に向けた取り組み◇特別企画展の実施ほか各種展示及び関連イベントの開催◇「夕張鉄道開業 100 年」に関する展示◇販売商品の拡充◇夕張市内の回遊・入込向上に向けた取り組み

所感：各種イベント等の参加者増や夕張市石炭博物館の 7 年ぶり模擬坑道再開による来場者増などが重なり、非常に好調な 1 年となりました。本年においてはその反動が懸念されるため、気を引き締めて運営に務めるとともに、会員の皆様と力を合わせ、より一層の地域価値向上に邁進していく所存です。

科 目		2025決算	2026予算
経常収益			
	受 取 会 費	2,293,000	2,300,000
	寄 付 金	1,498,994	1,000,000
	事 業 収 益	59,698,273	45,600,000
	補 助 金	500,000	1,000,000
	そ の 他	154,984	0
	経 常 収 益 計	64,145,251	49,900,000
経常費用			
事 業 費	人 件 費	16,643,017	14,000,000
	各 事 業 費 計	30,740,862	22,100,000
	小 計	47,383,879	36,100,000
管 理 費	人 件 費	3,930,000	6,300,000
	そ の 他 経 費	161,457	4,060,000
	小 計	4,091,457	10,360,000
	経常費用計	51,475,336	46,460,000
当期正味財産増加額		12,669,915	0
法人税・住民税・事業税		4,165,490	3,440,000
当期繰越正味財産額		8,504,425	0
前期繰越正味財産額		7,521,095	16,025,520
当期正味財産		16,025,520	16,025,520

◇館内ガイドツアー、まち歩き等の開催

◇教育関係行事等への支援・協力

■ NPO 設立20 年記念事業

次年度に向けた準備を行います。

■ 会務

会員サービスの実施◇各種会員拡大に向けた取り組み

■ 人事

夕張市の地域おこし協力隊として、4 月から夕張市石炭博物館に中国出身の股（いん）航（こう）さんが着任しました。早速ガイドもこなす活躍をしています。ぜひ博物館へお越しの際は一声かけてあげてください。

総会資料（原本）については、下記 URL よりダウンロード可能です。
https://soratan.or.jp/npo/4-a_sokaireport/

